

アイリスLetter

保護者の皆様へ



2017年11月30日発行
第7号
広島女学院中学高等学校

早くも今年最後の月を迎えました。夕暮れも早く、生徒たちが部活などを終えて下校する時間には、外はすっかり暗くなっています。この時期、イエス・キリストの降誕を記念する12月25日の週から数えて、前の4週間を、教会の暦ではアドベント（待降節）と呼び、クリスマスを迎える準備の期間としています。電飾を施し、もみの木を飾り、クリスマスカードを交換するのはこの期間です。教会ではアドベントのリースを飾り、4本のローソクを立て、一週ごとに灯りを増やしながら当日を待ちます。

先日の中学校の礼拝で次の聖書箇所を開きました。「今私は心騒ぐ。父よ、私をこの時から救ってください、と言おうか。しかし、私はまさにこの時のために来たのだ。」(ヨハネ12:27)イエスが、十字架の苦難の死を間近に控えて祈った言葉です。イエスの誕生を覚えるクリスマスとは、十字架で人々の罪を負って死を迎え復活へと向かった、33年の生涯の幕開けといふことができます。その意味を込めてクリスマスカラーは、十字架上のイエスに被せられたイバラの冠を象徴するヒイラギの緑と、流された血潮を表す赤が用いられます。

11月14日のキリスト教強調週間で講演くださった安積力也先生は生徒たちに、皆さんはいくつの仮面をもって生きているか？と問われました。社会に生きる時、相手や場に応じて様々な顔を見せることは、相手や自分自身を守る大切な行為であるけれども、一生懸命相手に合わせて生きている、その姿が本当の自分だと勘違いしてしまう時、自分自身を失って人は苦しむ。本当の自分の姿と対峙することは、認めたくない暗闇の部分をも見せられる痛みを伴うけれど、これを通してこそ、人は自分の心の奥底に存在している真の自分の姿、そして心の底からの真の願いに気付いていくのだと語られました。(テーマは「何を願っている人間？」でした。)また、濃い影は強い光があってこそ生じるもの。闇の暗さに捕らわれてしまわず、視点を移し、光に目を注ぐことで新たな視点が開かれてくることをも示されました。

イエスの十字架の苦しみは、その人間の奥底にある闇との真正面からの対峙でした。その闇を通してこそ、真の光・希望が表れることをイエスの生涯は示していますが、クリスマスの暗い夜に点灯される電飾の光に象徴されている、その意味をこの季節に考えてみたいものです。

さて、先日の11月3日の文化祭は天候にも恵まれ、盛況のうちに無事終えることが出来ました。バザーをはじめとする行事も、長い期間の、PTAの役員の方々を始めとする皆様方による準備があつてのことであることを覚えて、その労に心から感謝申し上げます。何よりもこの行事を通してPTAの皆様相互の、また生徒たちとの交流、親睦が深められたならば幸いです。ありがとうございました。

聖書の言葉

「闇の中を歩む民は、大いなる光を見、死の影の地に住む者の上に、光が輝いた。」

旧約聖書イザヤ書9章1節
(校長)

果敢に「CHALLENGE」した文化祭

今年の文化祭のテーマは表題に示したように「CHALLENGE」。「CHALLENGE」（挑戦）の中央部「LLE」を取り去ると「CHANGE」（変化）になるという、2つの意味が込められています。このテーマ通り、生徒は果敢に「挑戦」し、「変化」していききました。

今年度の新しい企画は中学生全員による「ペットボトルキャップ壁



画]。東校地入り口、事務室前に掲示されていたため、ご覧になった方も多かったことと思います。高校執行委員会で立案、デザインした絵をクラスごとに分割し、中学生全員が割り当て通りにペットボトルのキャップを貼っていき、それをつなぎ合わせて一つの壁面に仕上げました。生徒・教職員全員で様々な色のキャップを集め、それを洗って色ごとに分類する、そのような一人ではできない陰の努力の結果が一つの巨大な壁画になる。5,000個ものキャップで作られた壁画は重量も相当なもので、吊るしても落ちないような場所や吊るす方法までも考慮し、壁画が完成してその姿を見せたときには感無量でした。他にも中学生の学校での活動成果をってもらう中学生展示会場は、華やかな高校生の部活やHR発表に比べて地味な企画ですが、力を入れて作成した跡がうかがえ、保護者や小学生が見入っていました。中学生の活動を中心に書きましたが、高校生の発表も、参加者と共に体験できる等、工夫を凝らした新しい内容を取り入れて、参加されたお客様全員が楽しめた文化祭になったことと思います。

最後になりますが、毎年文化祭では、前日までの準備、当日のバザーや後片付けと、PTAの方の協力を仰いでいます。特にお父さんの会による見回りの強化の結果、大きな問題が起きなかったことは大変喜ばしい

ことと思います。今年度も生徒以上に「CHALLENGE」していただいたPTAの方には、教職員一同感謝しています。この場を借りてお礼を申し上げます。

(中高生徒会顧問)

PTAバザー報告

11月3日(金・祝日)文化祭当日は好天に恵まれ、来場者も多く、PTAバザーも保護者の皆様の多大なるご協力をおもちして盛況のうちに終えることができました。本当にありがとうございました。

ひとりでも多くの方に楽しいひとときを過ごしていただけるよう、役員一同、5月より全力で準備してまいりました。女子校らしいかわいさのある文化祭を楽しんでいただきましたでしょうか。

校長先生をはじめ教職員の皆様方にはお忙しい中お時間をさいいただき、支えていただいたおかげで何事もなく終えることが出来ましたこと、深く感謝申し上げますとともに心よりお礼申し上げます。

(PTAバザー担当副会長)

キリスト教強調週間(11/13~18)

主題「何を願っている人間?」、主題聖句「主に自らをゆだねよ。主はあなたの心の願いをかなえてくださる。」(詩編37篇4節)、主題講演講師に安積力也先生をお迎えして実施されました。

安積先生は、敬和学園高等学校(新潟)社会科教諭・教頭、日本聾話学校(東京)校長、恵泉女学園中学高等学校(東京)校長、全寮制の基督教独立学園高等学校(山形)校長と、4つのキリスト教学校を経て、2015年3月、退職。全国各地での講演、NHK「ラジオ深夜便」「宗教の時間」、NHK・Eテレ「この時代の時代」などに出演されています。

講演では、「私たちは生きていく上で、様々な仮面をつけていて、自分自身でも本当の自

分が分からなくなってしまうてはいないか？本当の自分を見つめると汚さや弱さもあってつらくなるかもしれないが、影があるのはそこに光がある証。その光に気付いたら、どんなに社会や時代が暗い中でも希望を持ち、周りを支えられる人間になれる。人間の最も深刻な罪の結果としての原爆を受けながら、それでも侵されることのない人間の尊さを示し、世界へ平和を発信しているヒロシマの地にある皆さんにはきっとできる。『いい子』になるためではなく、『本当の私』になるために、人に教えてもらうのではなく、自分の心の声に耳を傾け続けていってほしい」と語られました。

学年別活動では、「隣人と共に生きる」ことについて、社会のさまざまな分野の講師の先生との出会いや具体的実践活動を通して考える時間を持ちました。

週間中の昼休み、中学礼拝委員会では、自分の“本当の願い”を探しに旅に出る少女を主人公にした『リトルプリンス・星の王子さまと私』を上映しました。

高校は宗教委員会の主催で「昼のつどい」が開催されました。韓国研修の報告、ダウン症のお嬢さんと一緒に来校してくださった藤山節子さんのお話、中国残留孤児の宮部玲子さんをお迎えして考えた日本と中国の関係、そして金信先生による絵本の朗読など、多彩なプログラムでした。

また、14日の昼休みには、主題講師の安積力也先生をお迎えして「講師を囲む会」を開催しました。安積先生のお話に触発された生徒たちが自分の内面を語る姿は感銘深く、教育の本来の姿を垣間見ることができました。

学年別活動は、高1が全体をリニューアルし「奉仕の実りは平和と喜び」として、昨年度以上に積極的に「関わる」奉仕のあり方を模索しました。高2と高3は、講師の先生方との少人数での対話によって、人生について

様々なヒントをいただきました。また、各学年ともクリスマス礼拝へ向けてハレルヤのパート練習に励みました。

18日（土）の閉会礼拝では、各学年の生徒代表が感想を発表し、それぞれが得たものを分かち合いました。詳細は学院報や年度末発行の小冊子『ガリラヤの風』にてご報告します。



（宗教教育委員会）

保健室だより（7）

朝晩冷え込む季節となり、体調を崩す人が多くなってきています。広島市内では、少しずつインフルエンザの発症も見られているようです。（広島市感染症情報センターより）

インフルエンザの予防接種は、打ってすぐ効果を発揮するものではありません。抗体ができるまでに1～3週間の時間を要します。予防接種を受けようと考えている人は、遅くとも12月上旬には接種を終えておくのが良いでしょう。ただし、予防接種を受けるとインフルエンザにかからないわけではありません。一番の予防は、日頃からの健康管理です。十分な睡眠とバランスの良い食事により免疫力を高めておきましょう。

（保健室）

心の健康（7）

師走、学校では今年最後のテストがあります。人は自分の力を試されることになると、緊張し心が揺れるものです。生徒も先生も期末テストに心身のエネルギーをととても使います。保護者もそうでしょう。こういう時こそ心と体に気くばりが必要です。

以前、ストレス (STRESS) 解消のヒントを頭文字順にお知らせしていました。今回はRです。

R-relation 人間関係を持つ

ストレスは多くの場合、人間関係によって生じ、人間関係によって解消していきます。今の社会は機械化が進んでいて、人間関係を持たなくても生活できる場面が多くなっています。しかし、実際には人との交流を求めています。人との関係を持たなくては生きていけません。

言葉にすること、おしゃべりすることによってストレスいっぱいの気持ちが落ち着き、考えが整理され、心は満たされていきます。言葉で表現して人間関係を作っていくことは、ストレスを解消していく1つの方法です。まずは家族で優しい気持ちで会話することを心がけてみましょう。



生徒の活躍

《中学》

◇中学バレーボール部

* 広島市中学校新人バレーボール中区大会
第3位 ⇒ 広島市新人戦出場決定

◇中学新体操部

* 広島市中学校新体操新人大会

団体: Aチーム 優勝
Bチーム 2位

◇個人の活躍

* 第67回全国小・中学校作文コンクール

(読売新聞社主催) 広島県中学校の部
S・K (3-3) 最優秀賞

* 第57回「国際理解・国際協力のための
全国中学生作文コンテスト」

F・Y (3-5) 銀賞

* 第11回ベートン音楽コンクール

バロックコース 中国地区本選

O・M (3-6) 優秀賞

⇒全国大会出場

《高校》

◇高校卓球部

* 第63回広島県高等学校新人卓球大会
(学校対抗の部)

団体: 女子B級 準優勝

◇高校新体操部

* 広島県高等学校新体操新人大会

団体: 優勝

個人: 一部総合

M・R (1-E) 4位

Y・M (2-D) 6位

一部種目別ボール

M・R (1-E) 3位

二部総合

W・S (2-E) 1位

T・A (1-C) 4位

K・H (1-D) 6位

二部種目別フープ

W・S (2-E) 2位

二部種目別ボール

W・S (2-E) 1位

◇高校放送部

* 第28回広島県高等学校放送文化コンクール
中部地区大会

[アナウンス部門] O・Y (2-E)
Y・F (1-E)

[朗読部門] H・M (2-B)

T・K (1-D)

⇒以上4名、県大会出場決定

* 第28回広島県高等学校放送文化コンクール
(県大会)

[アナウンス部門]

Y・F (1-E) 審査員奨励賞

[朗読部門]

T・K (1-D) 審査員奨励賞

◇個人の活躍

* 第61回広島県科学賞

S・M (3-D) 研究作品賞 (特選)

*プラン・インターナショナル夏休み読書
感想文コンクール 2017

団体：学校賞

個人：M・N（2-A） 最優秀賞
Y・R（2-A） 特別賞

《中高》

◇中高マンドリン部

*第40回広島県中学・高等学校ギター・
マンドリンフェスティバル
優秀賞・朝日新聞社賞受賞

◇中高吹奏楽部

*第55回中国中学校・高等学校吹奏楽
まつり in さくらびあ（高等学校の部）
最優秀賞（広島県教育委員会賞）

教職員の動向

11月2日に保健体育科の中元深雪先生に
女兒が誕生されました。おめでとうございます。

采杏（とあ）ちゃんです。ご成長の上に神様の
豊かな祝福をお祈りします。



中学讃美歌コンクール開催のお知らせ

12月18日（月）9時45分～12時20分、
ゲーンズホールで、中学讃美歌コンクールが
開催されます。この時期、生徒たちの一生懸命
練習する歌声が学校中に流れ、クリスマス
を迎える女学院の風物詩となっています。

なお、ホールの収容能力に限界があるため、
参観は中3保護者の方に限らせていただいております。
またお子様連れ、写真・ビデオ撮影、発表中の
出入りはご遠慮いただいております。生徒たちの
ための大切な行事であることをご理解いただき、
ご協力をよろしくお願いいたします。

（宗教教育委員会）

クリスマス献金のお願い

キリスト教の教会では、礼拝の中で神様への
感謝のしるしとして献金を捧げます。女学院
でも、2学期末のクリスマス礼拝で「クリスマス
献金」を捧げ、神様からの恵みを感じ
し“隣人”と分かち合うために、国内外の被災
者やNGOや福祉施設などにお送りしま
す。2学期末に詳細を記したプリントを配布
し、礼拝委員（中学）、宗教委員（高校）が
各HRで呼びかけます。趣旨をご理解の上、
ご協力いただければ幸いです。

（宗教教育委員会）

女学院クリスマスのご案内

12月20日（水）18時～19時30分（**17時30分
開場**）、ゲーンズホールにおいて女学院ク
リスマス（一般公開クリスマス礼拝）を行
います。今年は前田美和子先生（広島女学
院大学）のクリスマスメッセージ、高校放
送部による絵本朗読と映像を中心に、高校
音楽部・音楽選択生有志（合唱）、中学Y
WCA部（ハンドベル）、高校YWCA部・
高校宗教委員（司会・聖書朗読）などの生
徒の皆さんの協力でプログラムを準備し
ております。

在校生、ご家族、卒業生はもとより、ど
なたでも自由にご参加いただける礼拝で
す。ご家族、お知り合い、お誘い合わせの
上、どうぞご来場ください。共にクリスマ
スをお祝いしましょう。なお、入場は無料
ですが、会場で席上献金（上記の団体に寄
付）のご協力をお願いしています。

終了が下校時間を過ぎることをご了解
の上、**中学生が参加する場合は、必ず保護
者同伴か、お迎えをお願いします。**

（宗教教育委員会）



広島女学院メサイア演奏会のご案内

恒例のメサイア演奏会を、今年も下記のように開催します。救い主イエス・キリストの生涯とその意味を音楽で綴ったヘンデルの大作「メサイア」(曲中のハレルヤが有名)を、是非お嬢様の在学中にお知り合いの方々とご一緒にお聴きください。中高大の生徒・学生に加え、保護者・卒業生・教員9名等、多数協力出演し、練習も回ごとに熱を帯びてきています。チラシ・ポスターがご入用の方は事務室にお申し出ください。

日時：12月23日(土・祝日)

17時開場、17時30分開演

場所：ゲーンズホール

出演：羽山弘子(卒)、佐々木有紀(卒)、
頃安利秀、折河宏治〔独唱〕
広島女学院メサイア・オーケストラ、
広島メサイア合唱団、
星野晴夫(指揮)

入場料：無料(国内各施設等への献金があります。任意)

※小学生以下のお子様にはゲーンズ幼稚園による託児室が設置されます。

※駐車場はありませんので、お車での来場はご遠慮ください。

(メサイア実行委員)

今月の聖句

「主に自らをゆだねよ。
主はあなたの心の願いをかなえて
くださる。」

(詩編 37 篇 4 節)

(聖書科 Y. I)

12月行事予定

| | | |
|----|---|--|
| 1 | 金 | |
| 2 | 土 | 振替休日(11月3日(金)) |
| 3 | 日 | 休(12/24) |
| 4 | 月 | |
| 5 | 火 | |
| 6 | 水 | 期末テスト(高3) 1限8:55~ 期末テスト(高1) |
| 7 | 木 | (高2) 1限8:55~ |
| 8 | 金 | (中1・2・3) 1限8:55~ 15分休憩 |
| 9 | 土 | |
| 10 | 日 | |
| 11 | 月 | 1限8:55~ 15分休憩 |
| 12 | 火 | 1限8:55~ 15分休憩 高3自宅学習日 |
| 13 | 水 | 自宅学習日(中1~高2) 高3テスト返却 |
| 14 | 木 | 1限8:55~ テスト返却(中1~高2) |
| 15 | 金 | 高3特別時間割 1限8:55~ 高3期末テスト素点確認 |
| 16 | 土 | 特別時間割 1限8:55~ 期末テスト素点確認(中1~高2) Ⓢ 性教育 |
| 17 | 日 | 高3駿台センター試験プレテスト |
| 18 | 月 | 1限8:55~ 高3自宅学習日 Ⓢ 讚美歌コンクール |
| 19 | 火 | クリスマス礼拝リハーサル 補習 |
| 20 | 水 | 終業の日 クリスマス礼拝 女学院クリスマス エンパワーメントプログラム |
| 21 | 木 | |
| 22 | 金 | |
| 23 | 土 | 天皇誕生日 メサイア |
| 24 | 日 | |
| 25 | 月 | クリスマス |
| 26 | 火 | |
| 27 | 水 | |
| 28 | 木 | |
| 29 | 金 | 特別休暇 |
| 30 | 土 | |
| 31 | 日 | |